

Episode6 ギャラリー拓道プロジェクト



【中学生が個展を開く】

第8回（2016年）八街ミュージアムより作品展示場所として使用している八街商工会議所に、第10回（2018年）八街ミュージアム以降、年間を通した展示場所として使用できるようになりました。これにより2018年12月、『ギャラリー拓道』（拓道は八街中学校の校訓より使用）が誕生します。円滑な展示の入れ替えや、作品に関する連絡（破損等）を考えた時、当面は八街中学校美術部による、概ね1ヶ月ごとの展示会を、試験的に行うことが決まりました。

八街中学校美術部員約30人が、1年間の授業と部活動で制作する個人の作品は約150作品です。（美術部員は、各学年約10人、計30人ほど。部員1人は1年間で約5作品（授業3作品、部活動2作品）を制作。ギャラリー展示のために新たな作品を制作することはせず、日々生み出されている作品たちを、テーマやストーリーに沿って構成した展示会を企画していきます。これは、千葉県立美術館で行われているスクールプログラム「バーチャル・ミュージアム」の体験を参考にしています。



千葉県立美術館「バーチャル・ミュージアム」は、第8展示室を1/50スケールに再現した模型の中に、世界の名画のミニチュアを飾り付けて展示会を作り上げる学習キット。附属のマイクロカメラで、できあがった展示室を大型モニターに映し出すことで、自分たちの企画した展示を本物の展示会場で観ているような体験ができる。キットの貸出しや、出張授業も行っている。2012年12月23日 成田中学校美術部が体験（問い合わせ：千葉県立美術館 普及課）

多くの美術系大学卒業生でも、一生のうち一度も個展を開かない人もいます。中学生が義務教育中に個展を経験すると、その後の人生における創作や、作品発表の意識は、どのように変化するのでしょうか。『ギャラリー拓道プロジェクト』は、「個展」の開催や仲間と企画した「グループ展」の開催など、作品を発表する行為を通じた“社会とアートの関わり”を若いうちに体感すると、その後のアートとの関わり・向き合い方がどのように変化するかを問うプロジェクトでもあります。

以下、個展は太枠□で、グループ展、その他は細枠□で囲んでいます ※終了日は、ポスターの表記と異なることがあります

八街中学校美術部展 episode 1
“未来の私は”
 S.Y. Special Exhibition

 2018. 12. 1sat~2018. 12. 10mon
 ギャラリー拓道
 GALLERY TAKUDO
 八街商工会議所 1階 展示スペース
 〒478-8501 千葉県八街市八街1-2-1
 (八街駅南口より徒歩10分) 0476-22-1111

八街中学校美術部展 episode 1 個展 “未来の私は”
 2018年12月1日（土）～20日（木）
 ギャラリー拓道

八街商工会議所1階、約4mの展示スペース“ギャラリー拓道”が2018年12月より本格始動。第一弾は八街中学校美術部員による個展“未来の私は”。50号の油彩画など、印旛郡市中学校美術部展出品作品や美術科授業作品6点を展示。



展示スペース4 『ギャラリー拓道』 （八街商工会議所1階展示スペース）

八街商工会議所1階にある、長机2台、約4メートルの展示スペース。2016年より八街ミュージアムで使用し、2018年12月より「ギャラリー拓道」として年間を通して作品を展示している。イーゼルを使用することで、四つ切り約12作品の展示が可能。行事の装飾を再利用した背景や、黒板にチョークで書かれたウェルカムボード、スケッチブックによる芳名帳など、学校を意識した雰囲気づくりをしている。



過去・現在の展示会の様子や、今後の予定は、HPでご確認ください。

ギャラリー拓道 <http://bijyutubu.sakura.ne.jp/index-t>

 b_gpe@yahoo.co.jp <http://bijyutubu.sakura.ne.jp/index-t>

八街中学校美術部展 episode 2
新春美術部展
 2018年12月22日(土)
 ~2019年1月29日(火)
 ギャラリー-拓道

第二弾は八街中学校美術部展“新春美術部展。和をテーマにした水墨画など、印旛郡市中学校美術部展出品作品や美術科授業作品を展示。






八街中学校美術部展 episode 3
“個性”特集
 2019年1月31日(木)~3月1日(金)
 ギャラリー-拓道

第三弾は全国中学校美術部作品展で佳作を受賞した50号の共同制作“個性”の特集。制作に参加した八街中学校美術部員6名によるグループ展。




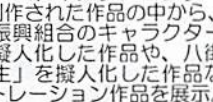

八街中学校美術部展 episode 4
卒業展
 2019年3月3日(日)~29日(金)
 ギャラリー-拓道

今年度最後の美術部展は3月12日に卒業式を迎える美術部3年生による展覧会。3年間の授業・部活動作品を展示。


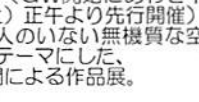
八街中学校美術部展 episode 5
イラストレーション展
 2019年3月31日(日)~4月26日(金)
 ギャラリー-拓道

第五弾はイラストレーション展。美術部展、八街ミュージアム、ポスターコンクールに向けて昨年度制作された作品の中から、八街駅南口商店街振興組合のキャラクター「ほっちくん」を擬人化した作品や、八街市の特産物「落花生」を擬人化した作品など、10点のイラストレーション作品を展示。

八街中学校美術部展 episode 6
イノガニック展
 2019年4月27日(土)~5月24日(金)
 ギャラリー-拓道

八街中学校美術部展、第六弾は、令和と共に5/1より始まる。(GW開始にあわせ平成31年4月27日(土)正午より先行開催) 鉱物、機械、建物、人のいない無機質な空間など、“無機質”をテーマにした、美術部員と美術部顧問による作品展。

八街中学校美術部展 episode 7
自然と風景展
 2019年5月26日(日)~7月20日(土)
 ギャラリー-拓道

豊かな自然を描いた風景画や、自然と共に生きる動植物など、自然と風景をテーマにした絵画やポスターによる作品展です。




八街中学校美術部展 episode 8
もうひとつの美術部展
 2019年7月22日(月)~8月5日(月)
 ギャラリー-拓道

印旛地区の美術部員は年々増加し、佐倉市立美術館で開催される美術部展に展示される作品は各校部員数の半分ほど。八街中学校美術部36人の作品から、惜しくも第23回印旛郡市中学校美術部展に展示されなかった作品による「もうひとつの美術部展」。




八街中学校美術部展 episode 9
踊りのダイナミック展
 2019年8月7日(水)~9月10日(火)
 ギャラリー-拓道

音楽好きの先輩とドラゴン好きの後輩2人の男子部員による『踊りのダイナミック展』




八街中学校美術部展 episode 10
イラスト展Ⅱ
 2019年9月12日(木)~10月4日(金)
 ギャラリー-拓道

第23回印旛郡市中学校美術部展で佐倉市立美術館に展示された作品の中から、イラスト作品を集めた展覧会。




2019年10月14日(月)~11月3日(日)は、第11回八街ミュージアム展に使用

八街中学校美術部展 episode 11
個展“八街”
 2019年11月24日(日)~12月13日(金) ギャラリー-拓道

第11弾は八街中学校美術部前部長による個展“八街”八街駅や空港を題材にした絵画作品など、3年間に美術部や授業で描いた約10作品を展示。





八街中学校美術部展 episode 12
個展“飛行”
 2019年12月15日(日)~2020年1月10日(金)
 ギャラリー-拓道

第12弾は八街中学校美術部員による個展“飛行”3年間に授業や部活などで描いた絵画・ポスター・水墨画等12作品を展示。







八街中学校美術部展 episode 13
個展“猫”
2020年1月12日(日)～31日(金) ギャラリー拓道

第13弾は八街中学校美術部副部長による個展“猫”「コト村イトウ」のシャッター画、猫の原画も展示。



八街中学校美術部展 episode 14
個展“蝶”
2020年2月2日(日)～3月9日(月) ギャラリー拓道

印旛郡市中学校美術部展優秀賞・全国中学校美術部作品展佳作を受賞した50号の共同制作“蝶”と、制作に参加した部員6人によるグループ展です。



ギャラリー
拓道
GALLERY TAKUDO
managed by the Yachioma Junior High School Art Club



八街商工会議所 1階 展示スペース
The Yachioma Chamber of Commerce & Industry
〒270-0804 八街市(徒歩2分) 9:00～18:00 (定休日:なし)



八街中学校美術部展 episode 15
個展“見つめるウサギ”
2020年3月11日(水)～4月10日(金) ギャラリー拓道

第15弾は3月に卒業を迎える3年生の美術部員による最後の個展。全国中学校美術部作品展佳作を受賞した作品など、3年間の作品で中学校生活を振り返ります。



八街中学校美術部展 episode 16
もうひとつの八街駅展
2020年4月12日(日)
～6月29日(月) ギャラリー拓道



美しくデザインされた“八街駅”の魅力を多くの方々に伝えるための展覧会「THE八街駅展5」の開催に合わせ、ギャラリー拓道に美術部作品を展示する「もうひとつの八街駅展」です。

八街中学校美術部展 episode 17 個展“給水”/個展“結絃”
2020年7月1日(火)～31日(金) ギャラリー拓道



この夏、美術部を引退する3年生による個展シリーズ。部活動・授業・自宅などで制作した作品により、中学校3年間の成長や、画風の変化を振り返ります。第一弾は2名によるW個展。



八街中学校美術部展 episode 18
個展“栄光”
2020年8月2日(日)～10月13日(火) ギャラリー拓道

この夏、美術部を引退する3年生による個展シリーズ第二弾。部活動・授業・自宅などで制作した作品により、中学校3年間の成長や、画風の変化を振り返ります。



2020年10月19日(月)～11月8日(日)は、第12回八街ミュージアム展に使用



八街中学校美術部展 episode 19
個展“二十一世紀に生きる君たちへ”
2020年11月15日(日)～12月24日(木) ギャラリー拓道

3年生による個展シリーズ第4弾!八街市環境保全ポスターコンクール最優秀賞作品、こども県展入選作品、合唱コンクールポスター賞受賞作品、美術部展出品作品など、3年間の様々な作品を展示!





八街中学校美術部展 episode 20
個展「青い鳥」
2020年12月26日(土)～2021年1月29日(金)
ギャラリー-拓道

3年生による個展シリーズ
第5弾!授業・部活・行事で
制作した、絵画・デザイン・
イラスト・ポスターなど、多
彩な作品で3年間を振り返り
ます。






八街中学校美術部展 episode 21
個展「あなたへ」
2021年1月31日(日)～3月26日(金)
ギャラリー-拓道

2020年度、3年生による個展シリーズ最終
回!部長として原画を手がけた、現在八街駅南口
商店街・すずらん通りに設置されているストリート
ピアノの原画のほか、全国や印旛の美術部展で
受賞した個人制作など、3年間の創作の軌跡をた
とります。




証言4 影山 祐子 (佐倉市立西志津中学校)

「美術部作品展示を通じた交流」

美術部では、「アートレゼン」という美術部同士の実践交流会があり、他にも様々な形があります。千葉大学で行うもの(令和2年度は中止)、県立美術館の木組みのワークショップ、各校美術部同士による作品講評会などです。これらは、美術部の地位向上を図るために行われています。「八街ミュージアム展」では、実際に美術部の作品を駅構内でみたり、八街商工会議所にある「ギャラリー-拓道」で、毎月的美術部活動を見ることが出来ます。これを見学に行くのも「アートレゼン」の一つと考えます。

「八街ミュージアム展」では、「布プロジェクト」と題し、体育祭や校外学習などのスローガンが展示してありました。体育祭や予餞会、校外学習のスローガンは、近隣の中学校でどんなものを制作しているのか意外と知らないことが多いです。布は地元商店街のコットン村イトウさんのものを使用しています。コットン村イトウさんではスローガン用に取付用のひもも縫ってくれるので、行事当日の作業が無理なくできます。本校の体育祭のスローガンも、コットン村イトウさんから布を購入しています。スローガン作品はなかなか他校の作品を見ることはできないので、八街ミュージアム展での作品は、参考になり、子どもたちにとっても視野を広げることができました。

地域の商店街や駅構内に美術部作品がある活動も、展示を通じて顧問や部員たちにとってよい交流になっています。顧問がこの様子を動画に撮影し紹介することで、子どもたちに刺激を与えることで、今後の活動の改善を図り、「他校の美術部にも、自分たちと同じように頑張っている中学生がいる」「次の郡展に向けて頑張ろう」と活動の励みになっています。(2020年11月 寄稿)

影山 祐子 (かげやま ゆうこ) 佐倉市立西志津中学校美術科教諭・美術部顧問。八街中央中学校、八街中学校の美術科・美術部顧問を歴任。八街中学校ではフルフェンスの壁画を手がける。印旛郡市中学校美術部展の立ち上げに参加。アートクラブグランプリ(全国中学校美術部作品展)での受賞者は印旛郡市で最多を誇る。2006年より、全国各地の中学・高校の美術部展を精力的に取材し、blogで情報を発信し続けている。現在は印旛郡市中学校美術部展OFFICIALSITE直営のblog「郡展satellite site」を運営。二科千葉支部同人。



「郡展satellite site」は、2011年4月より、主に印旛郡市の中学校美術部・千葉県内の高校美術部・首都圏の美術系大学の活動を紹介している。<http://blog.livedoor.jp/miko111111/>



【市内4校の美術部による八街市中学校美術部展】

2005年、印旛郡市中学校美術部展で受賞した市内4校の作品を八街駅市民ギャラリーに凱旋展示する「八街巡回展」として、「八街市中学校美術部展」は始まりました。第1回(2005年)は4点、八街ミュージアム内の企画として再開した第2回(2015年)以降おおむね12点(4校が3点ずつ)、第6回(2019年)は会場を八街市中央公民館(会議室)に移し、60点の作品展示とワークショップの開催を行いました。

その年々で会場や展示可能点数や内容が変更しても、柔軟に対応して円滑に展示や運営ができてきているのは、毎年開催している印旛郡市中学校美術部展で、展示や運営を協力して行ってきたことや、八街市の中学校が4校とコンパクトであることなどが影響していると思います。

『第1回八街市中学校美術部展』
2005年8月1日(月)～9月5日(月)
八街駅市民ギャラリー



「第9回印旛郡市中学校美術部展」の八街巡回展として、八街市内の中学校の受賞作品4点を展示。

展示スペース5 『やちまたアートピット』 (八街市中央公民館1階ロビー)

『やちまたアートピット』は八街市にゆかりのある芸術作家や、彼らと「友達の輪」でつながった作家たちの作品を展示する小さなギャラリー。場所は八街市中央公民館1階ロビー。

管理は八街ミュージアム展協力団体であり、公民館での美術部展開催に尽力していただいた「八街市の文化芸術振興を考える会」。



『第2回八街市中学校美術部展』(第7回八街ミュージアム)
2015年11月1日(日)～8日(日) 八街駅市民ギャラリー、他

これ以降「八街ミュージアム」内の企画として毎年開催。10月19日(月)より各校1点を展示してプレ開催。11月1日(日)より各校3点を追加し、計16点で本格開催。展示作品は、7月に佐倉市立美術館で行われた「第19回印旛郡市中学校美術部展」出品作品を中心に、各校から選抜された作品。



『第3回八街市中学校美術部展』(第8回八街ミュージアム)
2016年11月2日(水)～6日(日) 八街駅市民ギャラリー

「第20回印旛郡市中学校美術部展」出品作品を中心に、八街市内4中学校の美術部による12作品を展示。これ以降、印旛郡市中学校美術部展の受賞有無に関わらず、各校3点、計12点を展示する現在の形が定着。



『第4回八街市中学校美術部展』(第9回八街ミュージアム)
2017年10月31日(火)～11月5日(日)
八街駅市民ギャラリー

「第21回印旛郡市中学校美術部展」出品作品を中心に、八街市内4中学校の美術部による12作品を展示。



『第5回八街市中学校美術部展』(第10回八街ミュージアム内)
2018年10月23日(火)～11月4日(日)
八街駅市民ギャラリー

「第22回印旛郡市中学校美術部展」出品作品を中心に、八街市内4中学校の美術部による12作品を展示。



第6回 八街市 中学校 美術部展

from八街ミュージアム展

開催日 11月1日(金)～3日(日)
9:00～18:00 / 八街市民会館
1階中ホール / 印旛郡市立美術館 / 八街市立中学校 / 八街市立中学校

『第6回八街市中学校美術部展』(第11回八街ミュージアム展内) 2019年11月1日(金)～3日(日)

例年、八街駅市民ギャラリーで開催していた美術部展を、2019年は八街市中央公民館で開催。2階の小会議室を使い、市内4中学校の美術部の作品や、行事の横断幕など60点を展示。ワークショップ「街を彩る巨大段ボールアートをつくろう!」も実施。

この3日間、八街市中央公民館では、八街市民文化祭展示会部門や、八街市の文化芸術振興を考える会作品展も開催されており、市内のアーティスト、アートな作品が中央公民館に大集結した3日間となった。スタンラリーにも協力していただき、市内の美術団体が世代を超えて連携する、大きな一歩となった。



『第7回八街市中学校美術部展』(第12回八街ミュージアム展内)
2020年10月19日(月)～11月8日(日)

A-side【第24回印旛郡市中学校美術部展受賞作品展】
八街駅市民ギャラリー

2020年は臨時休業で6月から学校が再開したこともあり、限られた部活動の時間の中での作品制作。さらに「第24回印旛郡市中学校美術部展」は初の写真審査・Web開催となる。八街駅市民ギャラリーには八街市内の中学校の受賞作品、最優秀賞1点を含む9点を展示。印旛郡市中学校美術部展の受賞作品・出品作品が実際に鑑賞できる数少ない機会。写真審査によるWeb展だったことで応募できたストリートビジュアルは制作過程と完成作品を写真で紹介。



B-side
ギャラリー拓道

初の2会場開催。ギャラリー拓道には、受賞作品以外から選抜された5点を展示。

第7回 八街市 中学校 美術部展

from八街ミュージアム展

開催日 10月19日(月)～11月8日(日)
A-side 八街市民会館2階中ホール / 印旛郡市立美術館2階中ホール / 八街市立中学校 / 八街市立中学校
B-side 八街市民会館2階中ホール / 八街市立中学校 / 八街市立中学校



展示スペース6

『八街市中央公民館』 市内最大級のステージ&展示スペース

市民の各種大会、発表会、展示会による『八街市民文化祭』や、市内芸術家による『八街市の文化芸術振興を考える会作品展』の会場。

小中学校の授業作品(図工・美術、技術・家庭、書写、社会など)による『八街市情報展(大会議室)』、小中学校吹奏楽部・合唱部等による『八街市小中学校音楽発表会(大会議室)』、小中学生が市の花「ひまわり」を描く『ひまわり絵画展(廊下壁面等)』、中学・高校演劇部等による『八街演劇祭～Yachimata Drama Festival～(大会議室)』、小学生から大人まで、多くの楽器プレーヤーが揃うコンサート『八街吹奏楽フェスタ(大会議室)』など、若きアーティストが活躍する催し物が、年間を通して多数開催されている。

第11回(2019年)八街ミュージアム展では、『第6回八街市中学校美術部展』の会場として、小会議室を使用。



Episode7 History③ 2020～

新生活様式期

【2020年】

激動の2020年が始まります。多くの活動の中止や延期が発表される中、第73回全国造形教育研究大会2020成田大会の中止が決まりました。今まで当たり前に行っていた学校生活も、授業も、部活動も、街での活動も、ほぼ全てが当たり前では無くなり、新生活様式というルールの中で、柔軟に変化させることが求められることになりました。

2000年より段位的に始まった総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとしています。近年多くの教科で課題解決型学習が取り入れられてきたことから、様々な状況に柔軟に対応し、発想力・創造力を働かせることは、今後益々重要になると言えます。柔軟な思考、発想力・創造力を育てることは、長い間、図工・美術科の学習が行ってきたことです。アートプロジェクトに関わるアーティストたちも同様に、柔軟な思考、発想力・創造力を駆使して、その街の歴史や魅力や問題点を可視化し、新たな切り口で解決の糸口を見いだしてきました。だとすれば、コロナ禍における図工・美術科の教師は、学校や地域において最も力を発揮できる人材であるべきです。多くの学校で、図工・美術科の教師が、柔軟な思考、発想力・創造力を様々な場面で発揮し、学校や地域に貢献できれば、図工・美術科で身につく力の重要性を説得力を持って示すことができるのではないのでしょうか。数年後に2020年を振り返り、児童・生徒、学校や社会のために役に立った力は、どの教科の、どのような力だったのかが明らかになった時、図工・美術科の重要性が再認識されることを願っています。

2020年、八街中学校美術科、コロナ禍における主な活動(2019年度 研究主任・ICT担当/2020年度 進路指導主事・ICT担当)
 ・2020年3月 卒業式・離任式をホームページで動画配信
 ・2020年3月～5月 動画配信授業180本の配信(Googleドライブ・YouTube)を推進
 ・2020年9月 無観客となった体育祭のライブ配信(zoomで5台のカメラを連動させ、YouTubeライブ配信)を企画・実践
 ・2020年10月 Web進路説明会の開催

【第12回 お店+Web開催】

2020年の第12回八街ミュージアム展は、コロナ禍においても子どもたちの学びが止まらずに前進し続けていることや、学校で児童生徒が安心・安全に表現を続けていることを街の人々に伝える展覧会でもありました。図工・美術の授業数が確保できるか、作品が完成するかもわからない中、無理のない範囲での参加を呼びかけたところ、12校中8校が参加を表明してくれました。お店での展示と合わせて2018年度にスタートしたWeb上でも展示を楽しめるコンテンツは、コロナ禍における2020年度開催の大きな柱となりました。

八街を描く5 『八街のピアノ』ストリートピアノ

ピアノに彩色 アクリル 令和2年度八街中学校美術部2,3年 2020年 第24回印旛郡市中学校美術部展 優秀賞

八街ミュージアムなどの交流をきっかけに、ボランティア楽団「和音」がストリートピアノのデザインと彩色を八街中学校美術部に依頼。シャッター画の制作を中断している冬期間を利用して、2020年1月より市内某所にて制作開始。部長による「落花生型の八街駅」と「ひまわり」をモチーフにしたデザイン。新型コロナウイルス感染拡大防止による休日の部活動停止に伴い、2月に制作が中断するが、5月にピアノを八街中学校美術室に移動させ、制作を再開。9月完成。第24回印旛郡市中学校美術部展では、例年なら約200kgのアップライトピアノの美術館搬入は困難だが、本年度、写真審査・web開催となったことで、出品(応募)が可能となる。優秀賞受賞。



証言5 合屋 あさえ (和音代表)

「八街ミュージアムへの私の思い」

第12回八街ミュージアム開催、おめでとうございます。八街には美術館がないから、街そのものを美術館にしておこうと企画され、12年も長い間、子ども達ののびやかな作品を展示されていることを知り、私は発想のすばらしさに感銘を受けました。

ならば私は、八街に音楽ホールがないから、音楽の楽しめる空間を街角に作ってしまおうと和音のメンバーの子供達とともに「ストリートピアノ設置」の活動をはじめました。今、八街中美術部さんにも協力いただき、美術作品としてピアノは完成しております。まだ運用にはいたっておりませんが、メンバーの子供達は広報活動に頑張っています。

何も無いからあきらめるのではなく、何も無いから作り出すパワー。八街ミュージアム展には、そんな希望が詰まっていると思います。これからも長く続けてほしいです。(2020年12月 寄稿)

※この後、2021年1月から(1/31~3/31)、ストリートピアノの期間限定設置が決まりました。

合屋 あさえ(ごうや あさえ) ボランティア楽団 和音代表。地域に音楽を通じ人がつながることが出来る場所を作るため、八街市にストリートピアノを設置しようと奮闘。2019年、八街中学校美術部にロードピアノの制作を依頼。2021年1月、八街駅南口商店街・すずらん通りにて、2ヶ月間限定ストリートピアノ設置を実現する。



年表5 新生活様式期 (第12回 2020年~)

※八街ミュージアムHP内、Wikipedia風、年表より ■：印旛郡市中学校美術部展に関する記載 ▲：成田アート博覧会に関する記載

2020年

・2020年1月11日 市内某所にて八街中学校美術部によるストリートピアノの制作を開始。1号機は「落花生型の八街駅」と「ひまわり」をモチーフにしたデザイン。制作はシャッター画の制作を中断している冬期(1~3月)の毎週土曜日に行う。これは八街ミュージアムなどの交流をきっかけに依頼を受けたもの。

・2020年1月12日 ギャラリー拓道にて「八街中学校美術部展episode13個展“猫”(1/12~1/31)」開催。

・2020年1月17日 印旛地区教育研究会第四部会図工・美術研究部第2回主任会議にて本年度より新設された八街ミュージアム展「八街愛賞」10作品、「入選」16作品を発表。学校関係以外ではバルサミコヤス氏が八街愛賞を受賞。
<https://twitter.com/barusamikoyasu/status/1225610667761094656>

・2020年2月2日 ギャラリー拓道にて「八街中学校美術部展episode14“蝶”(2/2~3/9)」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode14>

・2020年2月22日 新型コロナウイルス感染拡大防止による休日の部活動・学校外での部活動停止に伴い、ストリートピアノの制作中断。

・2020年3月11日 ギャラリー拓道にて個展「八街中学校美術部展episode15“見つめるウサギ”(3/11~4/10)」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode15>

・2020年4月12日 ギャラリー拓道にて「八街中学校美術部展episode16“もうひとつの八街駅展”(4/12~6/29)」開催。緊急事態宣言による3・4・5月の臨時休業により2ヶ月半の展示となる。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode16>

・2020年4月17日 八街駅市民ギャラリーにて「THE八街駅展5(4/17~29)」開催。※2ヶ所での八街駅展開催となる。

・2020年5月26日 制作を中断していたス

トリートピアノを八街中学校美術室に移動。制作再開。

・2020年7月1日 ギャラリー拓道にてW個展「八街中学校美術部展episode17“給水”“結紮”(7/1~31)」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode17>

・2020年8月2日 ギャラリー拓道にて個展「八街中学校美術部展episode18“栄光”(8/2~10/13)」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode18>

・2020年9月15日 ストリートピアノ完成。第24回印旛郡市中学校美術部展に応募。約200kgのアップライトピアノの美術館搬入は困難だが、本年度、印旛郡市中学校美術部展が写真審査・web開催となったことで、出品(応募)が可能となる。

・2020年9月26日 「第12回八街ミュージアム展(10/19~11/8)」内の企画、「YACHI MATA漫画化プロジェクト」を八街ミュージアムHPで発表。「街を舞台に漫画を描く」=「街の魅力を可視化」ことをコンセプトに、YACHIMATAをテーマにした漫画を、半年以内に一般誌・新人賞に応募するプロジェクト。広く参加者を集め、画材の提供やアドバイス等、漫画制作を支援する。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/ym/2020m-manga-s.jpg>

・2020年10月 「YACHIMATA漫画化プロジェクト」と運動して、「インクtober2020」(10月1日~31日までの1ヶ月間インクを使って描いたイラストを、1日1枚 #inktober と #inktober2020 のハッシュタグをつけネットに投稿するアート・チャレンジイベント。2009年に始まり、現在アメリカを中心に25万人のアーティスト・漫画家に参加している。)に参加。
<https://www.kuretakezjg.us/inktober>

・2020年10月8日 ストリートピアノ「八街のピアノ(八街中学校2,3年生共同制作)」が第24回印旛郡市中学校美術部展で優秀賞を受賞。

・2020年10月19日 「第12回八街ミュージアム展(10/19~11/8)」開催。新型コロナウイルスの影響による小中学校の臨時休業

(3月~5月)の影響で、予定していた授業題材がおこなえないこと等に配慮し、可能な範囲での参加となる。4校が不参加(八街中央中学校は美術部のみ参加)、展示作品数も昨年度の約300点から120点に減少となる。開催期間に例年行われていた「八街市民文化祭(八街市中央公民館)」の中止に伴い西エリアの展示も行わない。北エリア、東エリアの展示も行わない。【八街駅周辺エリア】の八街駅南口商店街と八街駅市民ギャラリー、【南エリア】小谷流の里ドギーズアイランドの2エリアで、規模を縮小しての開催。接触を伴うスタンプラリーや、感想ノートも無くし、お店での鑑賞の他、Webでの鑑賞も推奨するなど、安心・安全な展覧会を目指した開催となる。(八街大祭も本年度中止)八街駅市民ギャラリーにて「第7回八街市中学校美術部展 A-side from第12回八街ミュージアム展(10/19~11/8)」開催。ギャラリー拓道にて「第7回八街市中学校美術部展 B-side from第12回八街ミュージアム展(10/19~11/8)」開催。



主催：印旛地区教育研究会美術部図工・美術研究部
協力：八街駅南口商店街協賛会/八街市立中学校美術部協賛会
後援：成田アート博覧会/成田アート博覧会実行委員会/成田アート博覧会実行委員会
協賛：八街市教育委員会(八街市教育委員 TMOYE)

第7回 八街市 中学校 美術部展

from八街ミュージアム展

令和2年 10月19日(月)～11月6日(日)
A-ekki 八街駅前ギャラリー（成田市の歴史を伝えるギャラリー）
B-ekki 成田駅前ギャラリー（成田市の歴史を伝えるギャラリー）
C-ekki 成田駅前ギャラリー（成田市の歴史を伝えるギャラリー）

【■2020年10月19日 アートクラブグランプリ（全国中学校美術部作品展）HPにて「第24回印旛郡中学校美術部展（最優秀賞・優秀賞のみ）」Web開催
https://www.artclub-gp.com/gallery_in_agun.php

【▲2020年11月14日 成田山表参道仲之町商店街・成田観光館にて「第10回成田アート博覧会（11/14～11/29）」開催
・2020年11月15日 ギャラリー拓道にて個展「八街中学校美術部展episode19 “二十一世紀に生きる君たちへ”（11/15～12/24）」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode19>

・2020年11月20・21日 八街ミュージアムに関する研究発表を予定していた「第73回全国造形教育研究会／第60回関東甲信越静地区造形大会／第71回千葉県教育研究会造形教育部会印旛大会（成田中学校・成田小学校11/20・21）」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
・2020年12月26日 ギャラリー拓道にて個展「八街中学校美術部展episode20 “青い鳥”（12/26～1/29）」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode20>

2021年
・2021年1月31日 ギャラリー拓道にて個展「八街中学校美術部展episode21 “あなたへ”（1/31～3/26）」開催。
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/t-episode21>

・2021年1月31日 八街駅南口商店街・すずらん通りに、八街中学校美術部によるストリートピアノが2ヶ月間の期間限定（1/31～3/31）で設置。商店街のレトロな雰囲気に合わせて、ピアノの背景には、東京オリンピック（昭和39年）当時の八街の写真や、駅の伝言板などがディスプレイされている。
<https://yachimata-ongakubu.com/author/yachimataongakubu/>



八街を描く6 『YACHIMATA漫画化プロジェクト』

漫画制作 2020年～

「街を舞台に漫画を描く」＝「街の魅力を可視化する」こと。YACHIMATAをテーマにした漫画を半年以内に完成させ、一般誌・新人賞に応募するプロジェクト。

八街をテーマにした漫画を描こう “YACHIMATA漫画化プロジェクト”

“YACHIMATA漫画化プロジェクト”
市内小中学校の児童・生徒をはじめとする若きアーティストの活動を応援し続けてきた八街ミュージアム。12年目の今年は、コロナ禍・ステイホーム中でも、じっくり取り組める自宅アート“漫画”にスポットを当て、八街をテーマにした漫画制作を支援します！

“街を漫画にする”＝“街の良さ・魅力を発見する”
2020年、「買って住みたい街ランキング26位（ライフルホームズ）」「物価が安いと感じる街ランキング5位（リカルト住まいカンパニー）」「コロナ禍での借りて住みたい街ランキング問い合わせ増加率ランキング1位（ライフルホームズ）」など、立て続けに八街の良さが再認識されています。八街をテーマに物語を考え、漫画にすることは、八街の良さ・魅力を、目に見える形にすること。アートのかたで八街の魅力を多くの人に伝えましょう！

“漫画原稿用紙”を無料配布！漫画制作を支援！
下記の条件でエントリー（プロジェクト参加を連絡）すると、希望者に漫画原稿用紙（B4メモリ入り40枚）を無料配布します。また、ネーム段階、完成前の作品の持ち込みも可！市内の図工・美術科教員（大学でマンガ専攻・絵画専攻など多数）がアドバイザーします。
条件・八街をテーマにした完全オリジナル漫画であること。
・八街を魅力的に描いた作品であること。
・一般誌、新人賞へ応募を前提として、半年以内の完成を目指すこと。
・新人賞に応募した際は、応募先・結果を報告すること。
※応募票、タイトル・原稿（1シーンでも可）など、八街ミュージアムホームページで受け取れます。
※エントリーは第12回八街ミュージアム展開催期間中10/19～11/8、50名限定。市内小中学生優先。その他の方も、地区・年齢を問わず大歓迎。（ただし、指定する学校に取り込まれる方）エントリー・持ち込み・問い合わせ等は八街中学校美術科043-443-1721

第12回八街ミュージアム展 令和2年10月19日（月）～11月8日（日）八街駅南口商店街、八街市内各所
主催：印旛地区教育研究会印旛地区図工・美術科部会、後援：八街市教育委員会（八街教育再生「MOT.E」）
協力：八街駅前商店街振興組合/八街中学校美術科部会/小谷町の豊ヶ丘・アライズ/八街市の文化会館職員を募る会

証言6 秋葉 千尋 （成田市立成田中学校 ・成田アート博覧会代表）

以前から、八街ミュージアムについては興味があり、素敵な取り組みだと思っていました。今年、成田アート博覧会に初めて関わりましたが、商店街の方々はとても素敵な人で、学校の活動に快く協力してくれました。その温かい気持ちの中、美術部の生徒は活き活きと飾り付けを行っていました。
「途切れさせてはいけない！」の一心で引き継いだアート博覧会も今年で10年目です。成田中の行事になりつつあります。今後も成田中学校として地域に少しでも貢献できるように、このアート博覧会を継続していきたいと思っています。（2020年12月 寄稿）



秋葉 千尋（あきば ちひろ）成田市立成田中学校美術科教諭・美術部顧問。現、成田アート博覧会代表（3代目）。アトリエ職員室展（印旛地区教職員展）に、彫刻など立体作品を中心に、毎年作品を出品している。2019年には、学校や地域に関連する作品、授業や授業の参考作品として制作した作品を積極的に発表していく「スクールアートプロジェクト」に参加。